

新型コロナウイルスの感染拡大により、議会にとって最も重要な町民とのコミュニケーションが困難となり、議会活動を思うように進めることができなくなりました。平時、災害時、コロナ禍にかかわらず住民とのコミュニケーションを確保することや議会の情報発信など議会機能を十分に発揮するため、議会のICT導入に向けた検討を本格的に開始しました。議会ICT化により議会活動がどう変わっていくのかを考察します。

【議会ICT化に向けたこれまでの経緯】

- 平成28年12月 フェイスブックによる情報発信開始
- 平成29年6月 議員定数等調査特別委員会を設置
議会のあるべき姿を協議
- 平成30年9月 議員定数等調査特別委員会中間報告書
議会機能を果たす活動にSNS、インターネット活用、動画配信を明記
- 平成30年12月 議員定数等調査特別委員会報告書
インターネットを活用した情報発信
新庁舎建設に合わせた議会中継の実施を明記
- 令和2年7月 zoomを活用したオンライン会議体験
- 令和2年12月 動画視聴による研修会実施
- 令和3年3月 **ICT環境整備に向けた議員アンケート調査実施**
- 令和3年6月 ICT勉強会（タブレット端末の活用）
- 令和3年7月 ICT先進地視察（沼田町）
- 令和3年9月 ICT化検討部会設置



アンケート結果

ICT環境の現状

スマートフォン使用者8名 未使用者3名
自宅のインターネット環境整備 8名 未整備3名

ICT意識の現状

ICT導入に対して 積極的7名 消極的4名

消極的な理由
活用できる自信がない3名
使い方を学べる場がない1名

ICT化に期待する項目
議員間の情報共有
資料のデータ化（ペーパーレス化）
情報の検索、閲覧
住民とのコミュニケーションほか

考察

スマートフォン、パソコンなどICT機器を活用している議員はICT導入に積極的な反面、ICT機器を使い慣れていない議員は消極的な側面がありました。消極的な理由の多くが「使ったことがない」、「使用に自信がない」という内容でしたが、議会へのICT導入に関しては、ほとんどの議員が必要を感じていることがわかりました。そのため、早い段階で議員がICTに触れる機会を増やし、ICT活用力の向上を目指していく必要があります。



1 議会の情報を町民に分かりやすく提供する。

- ・ フェイスブック、ホームページを活用した情報提供
- ・ 動画配信、議会中継による情報提供

2 町民とのコミュニケーションを促進する。

- ・ オンラインを活用した会議、情報交換会の実施
- ・ SNS を活用した意見の収集、調査の実施

3 議会活動の効率化、合理化により議会活動の充実強化を図る。

- ・ メール、SNS を活用した議員間の情報共有
- ・ インターネットを活用した各種情報検索
- ・ オンライン活用による議員間討議の促進
- ・ 会議資料等のペーパーレス化



期待される効果

- 1 議会の動きをリアルに町民に提供できる。
- 2 町民とのコミュニケーションが促進され、民意を議会活動に反映できる。
- 3 場所を選ばず会議や協議が可能となり、議論を深めることができる。
- 4 情報伝達、共有により議員間の協議を促進させることができる。
- 5 情報収集により議員個々のレベル向上が図られる。

最後に…

デジタル化の流れは議会にとどまらず、世界的な流れとなっており、日本は他国に比べデジタル化が遅れているといわれています。デジタル先進国では、行政手続きの90%がスマートフォンで行えるまで進んでいる状況から、日本政府はデジタル化の整備を国の最重要施策として力を入れて取り組み始めています。

私たち議会にとってもデジタル化が進むことで、これまで解決できなかった課題や取り組みに可能性が生まれるとともに、これまで以上に身近な議会を目指すことができると期待しながら、議会ICT化に向けしっかりと前進していきたいと考えています。



★今年度の取り組み計画★

- ◎QRコードを活用した議会だよりと動画の組み合わせ
- ◎動画配信による議会報告会 など